

【北海道庁から】北海道地域おこし協力隊メールマガジン

北海道 総合政策部 地域創生局 官民連携推進局

■ ■

北海道の地域おこし協力隊の方々にお届けする

■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

メールマガジン♪

■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

研修会やイベントの開催情報

■ ■ ■ ■ ■

全道各地で活躍する地域おこし協力隊の活動状況、

■ ■ ■ ■

定住・起業の支援情報などを発信します。

\*\*\*\*\*

## ■目次

- 【1】西塔さん連載企画！～第17回「ステキな視察のマナー」文 西塔大海さん（さとのば大学講師）
- 【2】【渡島総合振興局】渡島で活動する「人」の魅力を振興局インスタグラムで発信中！
- 【3】「道南地域おこし協力隊ネットワーク」活動状況のお知らせ
- 【4】「第2回 TCN オンライン座談会」開催のお知らせ
- 【5】【日本政策金融公庫】セミナー情報のご案内
- 【6】【ふるさと回帰支援センター】地域おこし協力隊向けしまなみ海道サイクルツーリズムを学ぶ視察研修会を開催します！
- 【7】【北海道農政事務所】「全日本高校生 WASHOKU グランプリ 2023」で北海道三笠高等学校が審査員特別賞を受賞！
- 【8】【道立生涯学習センター】「社会教育主事講習（B日程）」について

\*\*\*\*\*

## 【1】西塔さん連載企画！～第17回「ステキな視察のマナー」文 西塔大海さん（さとのば大学講師）

3年ぶりにどこへでも行ける秋がやってきます。

協力隊の業務や自分の起業の参考に、他のまちに視察に行ってみましょう。私もこれまで数百件の視察を受け入れてきました。今回は、この人はステキだな！と思う視察のマナーをご紹介します。

### (1) アポは1ヶ月前

「来週、視察に行ってもいいですか？」というメールを頂戴することがあります。

ご案内したいのはやまやまですが、先約があればお断りするしかありません。お互いに気まずいものです。視察の問合せは1ヶ月以上前にするのがマナーです。

観光視察ではないので、「いつでもいっしょい」というわけにはいきません。地域活動の見学には、地域の方々や役場職員の予定調整が必要です。

直前での調整は、担当者が地道に築いてきた信頼貯金を損なうことにもなります。

問合せの際には視察目的、背景、人数、交通手段、希望日時を明記します。視察料金も確認してください。視察はタダだと決めてかかるのは失礼ですよ。

### (2) 質問は事前に準備するもの

視察先を訪れ、説明を聞きます。その際、何のリアクションもなくただ聞いているだけの方がいらっしやいます。正直、時間を無駄にしたような寂しい気持ちになるのです。

最低限のマナーとしてメモをとりましょう。うなずきながら聞き、質問をしましょう。

本質的な質問をしてくる方には、こちらも熱意を持ってお応えしたくなるものです。

それには準備が必要なのです。「わからないことがわかる」状態になるまで、ネットや書籍で情報を集め、一緒に視察に行くメンバーで質問を50個は考えましょう。質問リストを事前に送っておくと、より詳しい方が対応してくださいます。

(3) お礼は、実行報告で

視察が終わると「参考になりました」と異口同音におっしゃいます。

けれど、地元に戻られた後、「どのように参考にして、何ができたのか」を知らせてくださる方はほとんどいません。

これはチャンスなんです。「先日の視察で学んだことを参考し、〇〇を企画しました」「まずは地域で視察報告会を開き、ヒアリングから始めてみました」など具体的なアクションを、1ヶ月後や半年後に視察先に報告してみてください。

きっと、さらに有益な情報を教えてくださるはずです。

もしかしたら、新しい交流が始まるかもしれません。人が人を呼ぶような面白い地域や団体は、そのようにして関係性を広げています。

最後に、皆さんの協力隊活動も3年後には視察を受け入れるような状態になるはずです。

その時に、気持ちよく受け入れができるように視察マナーを広げてきましょう。

#### ■西塔大海（さいとうもとみ）

合作株式会社取締役 さとのば大学講師

1984年山形県生まれ。2013年、福岡県上毛町に移住し地域おこし協力隊として活動。その後、地域おこし協力隊の支援・制度設計の専門家として、全道各地の自治体で導入・活動・起業の支援に携わる。

また、各地域での移住促進・空き家活用・人材育成などの地域プロジェクトマネージャーの経験を活かし、提言やアドバイザーを努めている。

○さとのば大学 <https://satonova.org/prospective/>

○西塔さん Facebook <https://www.facebook.com/saito.motomi>

## **【2】【渡島総合振興局】渡島で活動する「人」の魅力を振興局Instagramで発信中！**

渡島総合振興局よりお知らせです！

渡島総合振興局では、今年度から実施の独自事業『渡島の「人おこし」プロジェクト』において、渡島で活動する「人」の魅力を通じた関係人口・交流人口の拡大を図るため、SNSを活用した情報発信に取り組んでいます。

その中で、渡島総合振興局公式Instagram『「おしま」と読みます』では、管内市町の協力をいただきながら、渡島管内で活動されている地域おこし協力隊の方や地域づくりに取り組む方を取材し、活動内容などの情報発信を行っています。

今後も取材を行う予定ですので、

ぜひ、投稿をご覧ください、「いいね！」やフォローしていただけると嬉しいです！！

アカウントは、「おしまと読みます」で検索してください！

#### ▼投稿済の取材先一覧（8月28日時点）

第1回 藤谷 周平さん（八雲町 地域おこし協力隊）

第2回 遠藤 麻耶さん（鹿部町 地域おこし協力隊）

第3回 菊地 映利さん（森町 地域おこし協力隊）

第4回 古市 太介さん（福島町 地域おこし協力隊）

第5回 小玉 龍之介さん（知内町 地域おこし協力隊）

第6回 松下 壮登さん（知内町 地域おこし協力隊）

第7回 森田 蘭満さん（松前町）

### 【3】「道南地域おこし協力隊ネットワーク」活動状況のお知らせ

道南地域おこし協力隊ネットワーク代表の藤谷さん（八雲町地域おこし協力隊）より、ネットワークの活動状況についてのお知らせです！

(1) 道南の食材を使ったおむすびプロジェクト実施中です！

以前のメルマガでも紹介させていただきましたが、道南（渡島・檜山振興局管内）の地域おこし協力隊によるおむすびプロジェクトを実施中です。

もともとは有志メンバーでスタートしましたが、道南地域おこし協力隊ネットワーク発足に伴い、ネットワークの事業としても展開していくことになりました。

6月に私が運営管理をしている廃校活用施設「ペコレラ学舎」で開催されたキャンプイベントを皮切りに、7月には乙部町で開催されたマルシェイベント、8月は同じくペコレラ学舎にて開催された音楽イベントにて提供をさせていただきました

その時できるだけ旬の食材を道南各地から持ち寄って、提供するもので回を重ねるごとにクオリティも上がってきております。

今後も定期的に イベントなどで提供していく予定です。

(2) オンライン交流会を月1回開催中です！

ネットワーク主催のオンライン交流会を7月より定期開催しています。

7月末の会では、ネットワークコアメンバーであり、森町の地域おこし協力隊 OB である山本さんから「協力隊1年目の極意」をテーマにお話しいただき、そのあと「わたしが協力隊になった理由とこれから」についてをテーマにディスカッションを行いました。

今回の参加者は新任協力隊の方が多かったため、非常に参考になったという声をいただくことができました。

次回は8月30日（水）20時～「地域イベントのつくりかた」をテーマに4名の協力隊から事例紹介をしてもらい、後半はテーマを設定してディスカッションを行いたいと思います。

後述のイベント概要に詳しくは記載いたしますので、どなたでもお気軽にご参加ください

もちろん道南以外の地域の協力隊員、協力隊以外で地域でのイベントづくりに関わっている方もご参加お待ちしております。

#### 【イベント概要】

▼日時：令和5年8月30日（水）20時～

▼場所：オンライン（Zoom）

▼定員：なし

▼プログラム

(1) 現役協力隊4名による地域イベントのつくりかた事例共有

(2) テーマに沿ったディスカッション、交流タイム

▼申込締切日：8月30日（水）17時まで

▼申込先（下記専用フォームより）

[https://docs.google.com/forms/d/15\\_CU8bzT2VRXLqGnPk8eL7IUjxqauOWaYMslyl9c/edit](https://docs.google.com/forms/d/15_CU8bzT2VRXLqGnPk8eL7IUjxqauOWaYMslyl9c/edit)

(3) 地域おこし協力隊向けクラウドファンディング「HIOKOSHI」の活用研修会を開催しました！

8月23日（水）にクラウドファンディング活用の伴走支援を行う、株式会社 KITAICHI、HIOKOSHI 運営事務局と共催で研修会を開催しました。

当日は12名の地域おこし協力隊員にご参加いただき、事務局による HIOKOSHI の概要説明、事例共有会を行った後、実際にクラウドファンディングのプロジェクトを考えてみるというワークを行いました。すでにクラウドファンディングに取り組んでいる方から今後クラウドファンディングを積極的に活用していきたいという方が多く、具体的なアイデアも生まれた良い研修会になったかと思えます。

今後もこのような共催イベントとネットワーク独自の研修会も実施していきたいと思えます。

(4) リアル交流会を開催します！

9月9日（水）に厚沢部町にてネットワーク主催のイベントおよび交流会を開催します。詳細については現在調整中ですが、概要についてイベント概要欄に記載しますので、ご確認いただけますと幸いです。

こちらもどなたでも参加できる内容となっておりますので、道南の秋の味覚を味わいたい方、スポーツ、遊びを楽しみたい方、協力隊との交流を楽しみたい方などご来場をお待ちしております。

【イベント概要】

▼日時：令和5年9月9日（土）10時～15時

▼場所：厚沢部町土橋自然観察林（レクの森）

▼定員：なし

▼プログラム

(1) 道南の秋の食材をふんだんに使ったBBQコーナー

(2) みんなで握ろう「道南おむすびプロジェクト」

(3) モルック体験

(4) キャンプ体験

(5) ポップコーンづくり体験 など

▼申込締切日：9月6日（水）17時まで

※交流会のみ申込制、その他は申込不要

▼問合せ先

部署：道南地域おこし協力隊ネットワーク代表

担当者名：藤谷 周平

電話：070-4559-4725

Email：[shuhei.fujiya.yakumo@gmail.com](mailto:shuhei.fujiya.yakumo@gmail.com)

#### 【4】「第2回TCNオンライン座談会」開催のお知らせ

とかち地域おこし協力隊ネットワーク（TCN）の磯野さん（広尾町地域おこし協力隊）より、オンライン座談会の開催報告がありましたのでお知らせします！

8月23日（水）に第2回TCNオンライン座談会を開催しました。

TCNではキャラバン式ツアーや研修交流会をはじめ、十勝管内に籍を置く現役協力隊を対象としたイベントを数多く企画運営していますが、一方で所属メンバーのみが参加する対内的な催しも実施しています。

私たちTCNは発足してまだ半年も経過していません。

なので、お互いがお互いのことを知る機会を十分確保する必要があると考えており、これまでにランチ会やバーベキューなどを不定期に開催してきました。

しかしながら、非常に広大な面積を誇る我らが十勝。

その大きさゆえに全員が一堂に会する機会もなかなか限定的な状況下に置かれています。

そこで、対面交流が難しくとも、メンバー間の相互交流促進が図れればと思い、オンラインを活用した本座談会を月一ペースで開催する運びとなりました。

本座談会は毎回2名程度のメンバー（現役協力隊）が登壇し、ややディープな自己紹介や卒業後のビジョンなどを語ってもらう場となっております。

第2回目は浦幌町と広尾町の協力隊がプレゼンテーションをしました。

さまざまなキャリアをもつ私たち現役協力隊ですが、それぞれが目指す将来像や地域への視座もまた十人十色。

地域との関わり方に絶対的な正解など存在しないからこそ、いろいろな考え方に触れる大切さを改めて感じることができました。

その一方、所属する自治体や十勝の経済社会的発展に貢献したいという気持ちはまごうことなき共通理解であるとも看取できたと実感しています。

TCN はまだまだ活動の萌芽期の段階にあります。

今後取り組みの幅を広げていくためにも、協力隊同士の相互理解の一助となるような対内的企画も一層充実させる必要があると考えています。

オフィシャルな TCN 活動のみならず、協力隊個人にフィーチャーした催事についても今後折を見て報告できればと思います。

#### 【当日イベント概要】

▼開催日：令和5年8月23日（水）

▼場所：オンライン

▼定員：なし

▼プログラム

・ 19:00～ 開会

・ 19:10～ 登壇1（板東克彦@浦幌町地域おこし協力隊）

・ 20:00～ 登壇2（磯野巧@広尾町地域おこし協力隊）

・ 21:10～ 閉会

▼問合せ先

とかち地域おこし協力隊ネットワーク（研修交流部会）磯野巧（[tcn.manage@gmail.com](mailto:tcn.manage@gmail.com)）

### 【5】【日本政策金融公庫】セミナー情報のご案内

日本政策金融公庫よりセミナー情報のご案内です！

(1) 新規客&リピート客作りの5ステップ～WEB とリアルを活かした顧客作り～

飲食業や美容業、サービス業などを営まれている方にお勧めのセミナーです。

新規客ってどうすれば来てもらえるの？リピート化するためにはどうしたらいいの？・・・等々WEB とリアルを活かした集客について、多くのヒントをお伝えします。

▼開催日時：9月19日（火）14：00～16：00

▼開催方法：対面

▼開催場所

小樽経済センタービル7F（小樽市稲穂2-22-1）

▼参加費：無料

▼申込方法：下記HPより申込

[https://direct.jfc.go.jp/w112\\_SeminarApply?id=2e819153-37a8-40ed-94bb-193a117221a4](https://direct.jfc.go.jp/w112_SeminarApply?id=2e819153-37a8-40ed-94bb-193a117221a4)

(2) 多様な人材確保のポイント～女性、シニア、外国人を中心に～

アフターコロナで人材確保に悩んでいる方向けセミナーです。

まだまだ潜在している多様な人材をご紹介します。事例を交えてわかりやすくレクチャーしますので、これから創業をお考えの方もぜひご参加ください。

▼開催日時：10月10日（火）14：00～16：00

▼開催方法：オンライン

▼参加費：無料

▼申込方法：下記 HP より申込

[https://direct.jfc.go.jp/w112\\_SeminarApply?id=3c69a6c9-e716-4132-b8fb-16eb4530631d](https://direct.jfc.go.jp/w112_SeminarApply?id=3c69a6c9-e716-4132-b8fb-16eb4530631d)

## **【6】【北海道ふるさと回帰支援センター】地域おこし協力隊向けしまなみ海道サイクルツーリズムを学ぶ視察研修会を開催します！**

北海道ふるさと回帰支援センターより、協力隊向け研修会の案内がありました！

地域おこし協力隊員で現在観光に取り組んでいる方・隊員終了後の起業を考えている方対象です。

北海道ふるさと回帰支援センターでは、道内市町村で活動中の地域おこし協力隊員の方を対象に、ワークショップ講座を定期開催しています。

隊員任期後の定住の道には「起業」があります。道内においてもカフェ、ゲストハウス、キッチンカー、ツアーガイド、学習塾など、様々な分野でOB.OGの方々が「起業」を選択し自らの道を歩んでいます。

本研修は、観光やサイクルツーリズム分野での起業を目指す方、まちづくり分野等での隊員活動を進める方へ向けた先進地視察研修です。

### 【開催日程・場所】

#### ▼日程

令和5年11月5日（日）、6日（月）の2日間

#### ▼プログラム

##### 【1日目】11/5（日）

9:00 集合（尾道国際ホテル会議室）

9:00～ オリエンテーション

9:30～ レンタルバイク手続き@ジャイアントストア尾道

10:00～ サイクリング視察研修①

・渡船で移動

・向島～大三島までブルーラインをサイクリング（40 km）

・サイクルオアシス等視察（途中昼食休憩1時間）

（コースガイド＝NPO 法人花サイクルクラブ）

17:00 一日目終了&宿泊先チェックイン

##### 【2日目】11/6（月）

8:45 集合@宿泊先ロビー

9:00 サイクリング視察研修②

・大三島～今治駅までブルーラインをサイクリング（40 km）

・サイクルオアシス他施設等視察（途中昼食休憩1時間）

（コースガイド＝NPO 法人シクロツーリズムしまなみ）

16:30 ジャイアントストア今治にてバイク返却後 終了&解散

※レンタルバイクはクロスバイク・ロードバイク・Eバイク（電動アシスト付きスポーツ自転車）から選択いただけます

#### ▼参加費

70,000円（電動アシスト自転車の場合 80,000円）

※参加費に含まれるもの

スポーツ自転車レンタル料（2日間）、ガイド料、各施設視察費、保険料。  
（レンタルバイクはクロスバイク・ロードバイク・Eバイク（電動アシスト付きスポーツ自転車）から選択いただけます。）  
※現地までの交通費は含まれません。各自ご手配ください。  
※11月5日の宿泊は（13,470円※一泊一食付）は各自現地でお支払いください。  
（参加費には含まれません）

▼詳細

[http://furusato-kaiki.jp/kyouryokutai/info/202311\\_shimanami](http://furusato-kaiki.jp/kyouryokutai/info/202311_shimanami)

▼お申し込み方法

参加ご希望の方は

・氏名・自治体名所属先・連絡先（携帯電話、メールアドレス）・年齢・性別・身長を下記までメールください

▼受付期間 10月6日（金）まで

▼お申し込み・お問合せ

NPO 法人北海道ふるさと回帰支援センター

担当者名：山口 敏郎

Email：yamaguchi@bem-sapporo.jp

**【7】【北海道農政事務所】「全日本高校生 WASHOKU グランプリ 2023」で北海道三笠高等学校が審査員特別賞を受賞！**

北海道農政事務所よりお知らせです！

「全日本高校生 WASHOKU グランプリ」は、和食のユネスコ無形文化遺産登録等を背景とし、次代を担う和食の料理人の発掘・育成を目的とした全国規模の大会です。

藩政時代から培われ市民の食習慣として生活に深く溶け込み、特有の発展を続けてきた食文化がある石川県金沢市で毎年開催されています。

本グランプリの決勝大会に北海道三笠高等学校調理部が出場し審査員特別賞を受賞しました。

決勝大会の様子は下記の URL からご覧いただけます。

[https://www.youtube.com/watch?v=\\_96-500-jK4&list=RDCMUCiOPHnnawAfuGa1eVwfByoQ&start\\_radio=1](https://www.youtube.com/watch?v=_96-500-jK4&list=RDCMUCiOPHnnawAfuGa1eVwfByoQ&start_radio=1)

**【8】【道立生涯学習センター】「社会教育主事講習（B日程）」について**

道立生涯学習センターより講習のお知らせです！！

▼期日

令和5年（2023年）10月28日（土）～令和6年（2024年）1月28日（日）

※期間中 20日間

▼会場

全日程、オンラインで実施します。

▼内容

文部科学省から委託を受け、教育委員会の専門的教育職員である社会教育主事となりうる資格を付与することを目的とした講習を実施します。

この講習で規定の単位を取得することにより、NPOや企業等の多様な主体と連携・協働して住民の学習活動を支援し人づくりや地域づくりに携わる役割が期待される「社会教育士」の称号を得ることができます。

これまでも、社会教育・生涯学習に関連するNPOや企業等に加え、地域おこし協力隊員の方々も多数受講していますので、ぜひ多くの隊員の皆様の申込をお待ちしております。

▼申込

9月12日（火）まで申込を受け付けております。

希望される方は、北海道立生涯学習推進センターホームページ

(<https://manabi.pref.hokkaido.jp/center/works/index.html>)の「主催講座一覧」にアップされている実施要項をご覧ください。申し込みいただき、お住まいの管内の教育局へ問い合わせてください。

▼担当

道立生涯学習推進センター（担当：中西、萱津）

電話：011-204-5782（内線 36-326）

<お願い>

北海道地域おこし協力隊メールマガジンでは、市町村、地域おこし協力隊など関係者の皆さんからの掲載記事を募集しています。

道内で活動中の皆さんの取組紹介でも構いません。他地域の皆さんの取組が情報共有、また様々な連携に繋がっていくものと考えていますので、メールマガジンの積極的な活用をお願いします。掲載を希望される方は、[chiiki.okoshi@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:chiiki.okoshi@pref.hokkaido.lg.jp) までご連絡ください。

- ◆発行 北海道 総合政策部 官民連携推進局  
地域おこし協力隊サポート推進室
- ◆住所 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
- ◆電話 011-204-5791（直通）
- ◆御意見・お問い合わせ（当メールマガジンに関する事）  
[chiiki.okoshi@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:chiiki.okoshi@pref.hokkaido.lg.jp)
- ◆登録変更、中止、バックナンバーはこちらから  
<http://www1.hokkaido-jin.jp/mail/magazine/>
- ◆北海道地域おこし協力隊ホームページ  
<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/68404.htm>
- ◆このメールマガジンに掲載された記事の無断転載を禁じます。
- ◆このメールマガジンは等幅フォントで見ることをおすすめします。